



タウンと

『平泳ぎで九州3位』

大崎小学校水泳スポーツ少年団(団員50名)は、3人の同級生コーチ(山野正昭さん・岡留和幸さん・松元昭二さん)の熱心な指導のもと、5月から9月までのシーズン中は水泳で、そのほかのオフシーズンは陸上とサッカーで、心身を鍛えています。

そのスポーツ少年団に所属する生駒佳帆里さん(丸尾)が、7月に開催された九州学童通信記録会・5年生女子50メートル平泳ぎで、3位に入りました。この大会は、九州各地で競技会を開き、タイムを集計して順位を決定するものです。

生駒さんは、日頃からまじめに練習に取り組んでいて、各クラブチームのメンバーが上位を占める中、ただ1人スポーツ少年団で入賞したということで、同少年団の子ども達も「がんばれば、やれる!」と、よい手本になったようです。生駒さんも「大変びっくりしました。これを励みに、次は九州一位を目指します。」と更なる目標に向かって日々がんばっています。

また、保護者の方も「休みの日も、自分の家庭を犠牲にして、しかも無報酬で子どもたちを見てくれるコーチに、頭が下がります。コーチ及び育成会のおかげと、感謝しています。」と話されていました。



最前列左から5番目



『角堂で十五夜相撲大会』

9月21日、角堂は毎年恒例の『十五夜相撲大会』を自治公民館の敷地内で行いました。

今年で25回目を迎え、集落の子どもから大人まで参加したほか、地元小中学校の校長や先生方も招待され、約60人が公民館に集いました。

当日は、まず、子ども達の学校での文化・スポーツ活動の発表や県表彰を受けた作文の朗読などが披露され、そのあとに相撲大会に移りました。

土俵にはやぐらが組まれていて、みんなが楽しめるようにと、子ども同士の取り組みのほか、先生と数人の子ども達との対戦や、大人の部では、夫婦相撲や尻相撲なども行われました。

また、土俵横では、竹を縦に割って器にし、料理を食べたり、横に割ってコップにし、酒などを飲むなど、いい雰囲気で大いに賑わっていました。



『ボランティアで 電気設備無料点検』

電気工事業を営む6社でつくる大崎電友会(柳別府正会長)は、町内に住む高齢者住宅の電気設備の点検や蛍光灯の球取替などを無償で行いました。

当日は約20件を訪問して、蛍光灯球の交換や危ない配線箇所などの改修をし、高齢者の方々に大変喜ばれました。

